

<4時から夢塾>



第11回「4時から夢塾」は、10月15日(月)、西中学校で、新潟大学教育学部附属長岡中学校の川田昌宏先生を講師に「英語の授業改善」をテーマに開催しました。以下、提案授業・ミニ講座の概要です。

(1) 1年3組 題材名：『西中1年3組の様子を附属中生に伝えよう』 「Action! 何時ですか？」

*授業は講師の川田先生に、西中の英語担当、宮島洋一先生、ALTのヘンリー先生の3名で行われた。授業は、英語での挨拶、川田先生の自己紹介の後、ヘンリー先生から60までの数字をゲーム的に復習するウォームアップで始まった。次に、川田先生の日常生活の様子（起きる時間、朝食時間等）を予想し、実際に尋ねる表現（What time do you ~?）を教師たちのやり取りで学び、生徒から実際に質問をさせた。その後、附属長岡中学校の生徒からの依頼ビデオ「西中学校の生徒の生活時間を教えて欲しい。」を視聴し、学習内容を理解した上で、グループ毎に質問事項を決め、クラスの仲間にインタビューを行った。最後に、得られた情報をクラス内で交換するという内容で学習が行われた。



(2) ミニ講座・協議会

①授業者の川田先生から授業について・・・夏休み中に打合せをしたが、さらに10月10日「1年3組はどんな学級か」を知るために参観をした。そして、当日も飛び込み授業前の午前に学級の雰囲気に触れ、教科担当の宮島先生、ヘンリー先生と「小学校の学びが生きるよう」に打合せをして、『附属の生徒に、君たちの生活時間を教えてくれないか』というミッションを達成したいと考えた。これは、違う学校の教師（先生）が教えることで、生徒たちの意欲につながるのではないかと考えたからである。

② 同（宮島先生）・・・生徒にとっては、楽しい活動になった。次の時間の授業が楽しみである。

③川田先生講話・・・カリキュラムマネジメントの視点で学習指導に当たること。（奈須正裕；上智大）

○ 思考力・判断力・表現力の指導方法はこれまでと大きく変わるものではない。（及川賢；埼玉大）

○ 中学の授業で教科書のページを飛ばしてやらないことがないようにすること。（松澤伸二；新潟大）

④宮島先生（西中）から・・・「ルーブリックを使ったスピーキングの評価」の取組について紹介あり。

⑤小学校英語担当の有本先生から・・・”This is ME”の実践紹介。We Can！2で移行期乗り切りを。

⑥グループ討議・・・小グループに分かれて、参会者が各校での各自の取組を紹介しあった。



<参加者の声>

○活動が段階的に工夫されていた。英語に楽しくふれ、学習する工夫がいくつもあり勉強になった。

○附属中(講師)、小学校英語指導担当等、様々な立場の先生から学べた。小中の意見交流は良かった。

○会話を必要とする場を設定して、生徒が互いに受け答えすることは楽しんで会話する力を育む。

○実際によりプロジェクトを見せて頂き、話し合いで現状把握と今後の課題が学べて参考になった。

○他校の生徒に、自分たちの生活時間を紹介するという課題は、生徒のモチベーションに繋がった。

○協議で各校の取組を知ることができたが、深まるどころまで進まなかった。テーマ設定が必要。